

「安全なまちづくり」についてのモニターアンケート結果

調査時期：平成22年10月

対象者：県政モニター

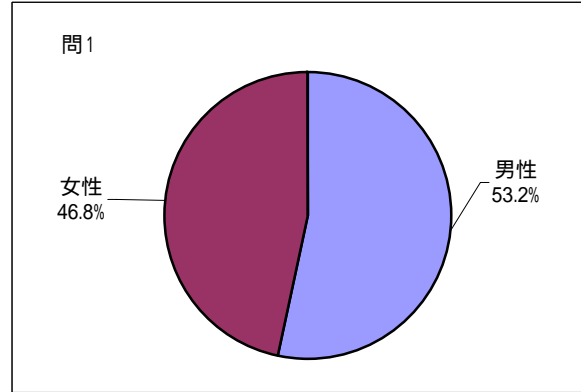
回答数：154人（回収率79.4%）

担当課：県民活動課

調査目的：滋賀県では、社会環境の変化等から犯罪が増加に転じており、今まで以上に県民、関係機関等のネットワークの強化を図り、自らの地域は自らが守るという地域自衛型防犯に基づいた防犯活動に連携して取り組んでいく必要があります。そこで防犯活動についての県民の皆さんの意識調査を行い、今後の防犯対策の参考にするためアンケート調査を行いました。

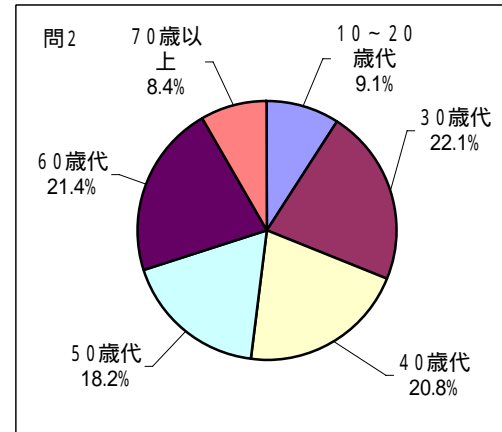
問1 あなたの性別を教えてください。

区 分	人数	割合
男性	82人	53.2%
女性	72人	46.8%
計	154人	100.0%



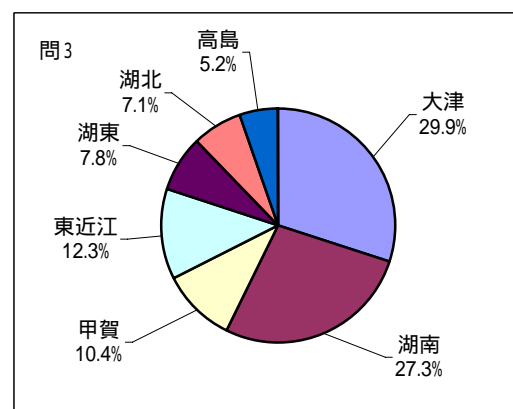
問2 あなたの年齢を教えてください。

区 分	人数	割合
20歳代	14人	9.1%
30歳代	34人	22.1%
40歳代	32人	20.8%
50歳代	28人	18.2%
60歳代	33人	21.4%
70歳以上	13人	8.4%
計	154人	100.0%



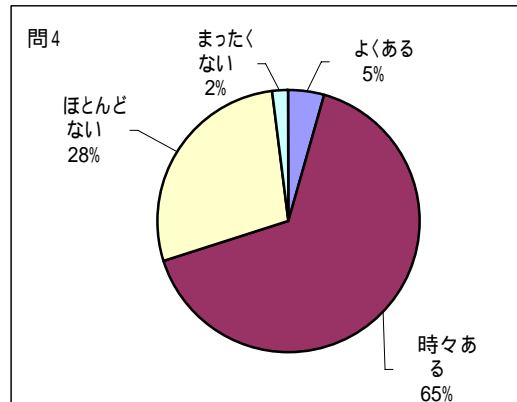
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

区 分	人数	割合
大津地域	46人	29.9%
湖南地域	42人	27.3%
甲賀地域	16人	10.4%
東近江地域	19人	12.3%
湖東地域	12人	7.8%
湖北地域	11人	7.1%
高島地域	8人	5.2%
計	154人	100.0%



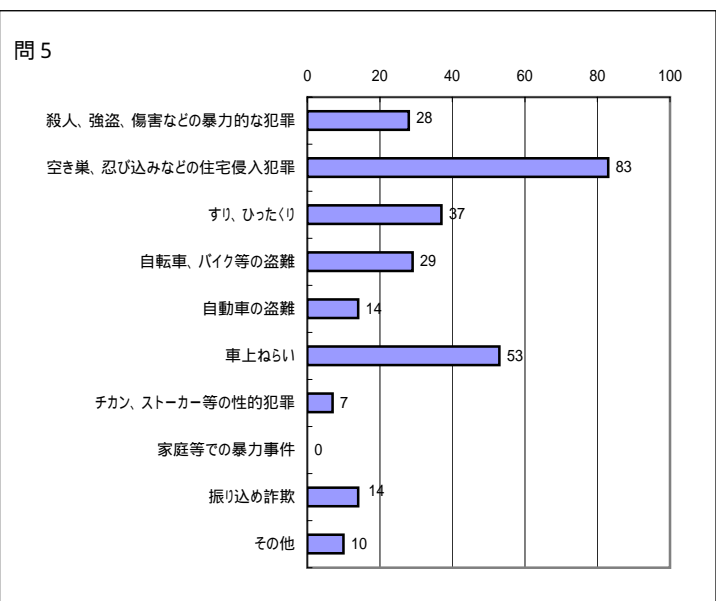
問4 あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかといた不安を感じることはありますか。(は1つだけ)

区 分	人数	割合
よくある	7人	4.5%
時々ある	101人	65.6%
ほとんどない	43人	27.9%
まったくない	3人	1.9%
計	154人	100.0%



問5 問4で「よくある」または「時々ある」と回答された方にお聞きします。どのような種類の犯罪に遭うと不安を感じておられますか。(は3つまで)

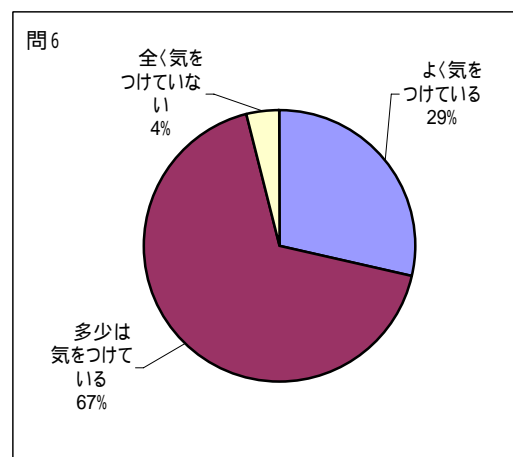
区 分	人数	割合
殺人、強盗、傷害などの暴力的な犯罪	28人	18.2%
空き巣、忍び込みなどの住宅侵入犯罪	83人	53.9%
すり、ひったくり	37人	24.0%
自転車、バイク等の窃盗	29人	18.8%
自動車の盗難	14人	9.1%
車上ねらい	53人	34.4%
チカン、ストーカー等の性的犯罪	7人	4.5%
家庭等での暴力事件	0人	0.0%
振り込め詐欺	14人	9.1%
その他	10人	6.5%
計	237人	178.6%



その他の内容
 ・インターネットの個人情報流出
 ・家庭菜園での作物の盗難被害
 ・子どもに対する犯罪
 ・車の運転に関する威嚇的な行為
 ・無差別殺人事件 等

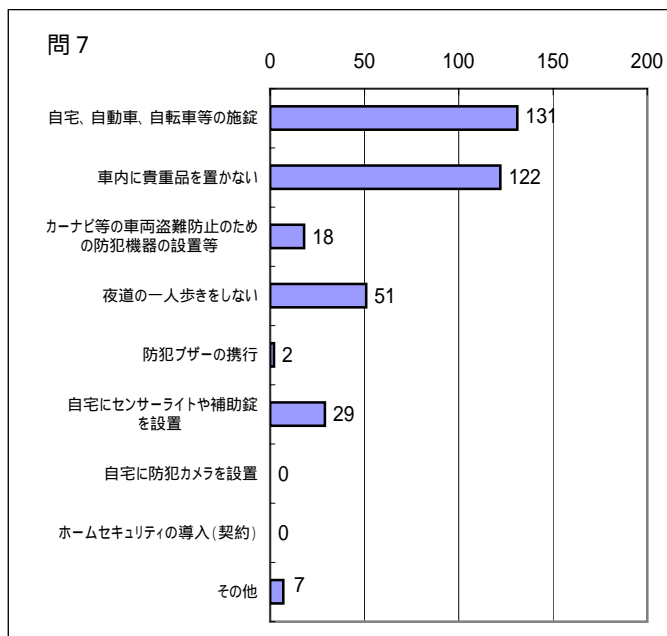
問6 ふだん、家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(は1つだけ)

区 分	人数	割合
よく気をつけてる	44人	28.6%
多少は気をつけている	106人	67.5%
全く気をつけていない	6人	3.9%
計	154人	100%



問7 問6で「よく気をつけている」または「多少は気をつけている」と回答された方にお聞きます。
具体的に日常生活で防犯に気をつけていることはどんなことですか。(はいいくつでも)

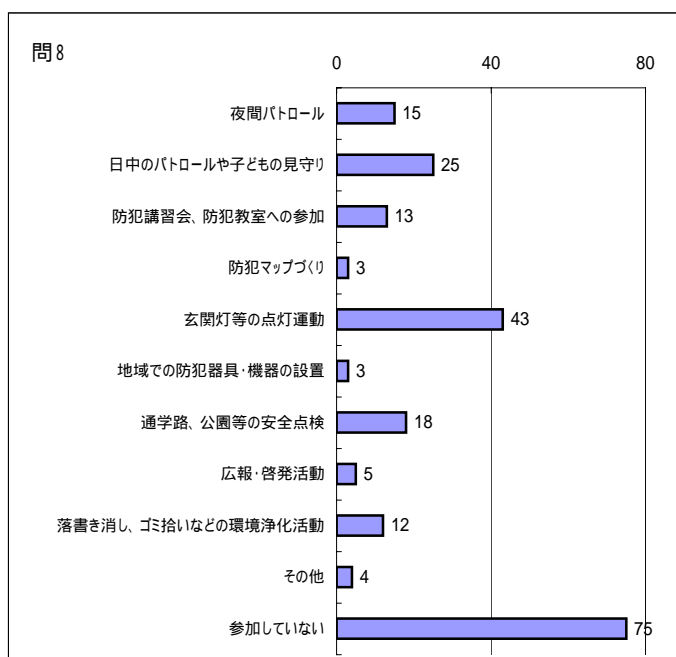
区 分	人数	割合
自宅、自動車、自転車等の施錠	131人	85.1%
車内に貴重品を置かない	122人	79.2%
カーナビ等の車両盗難防止のための防犯機器の設置等	18人	11.7%
夜道の一人歩きをしない	51人	33.1%
防犯ブザーの携行	2人	1.3%
自宅にセンサーライトや補助錠を設置	29人	18.8%
自宅に防犯カメラを設置	0人	0.0%
ホームセキュリティの導入(契約)	0人	0.0%
その他	7人	4.5%
計	360人	233.8%



その他
 ・ご近所とのあいさつ
 ・家の周囲などの清掃
 ・異常時の携帯電話への転送システムの導入 等

問8 どのような防犯活動に参加したり取り組んだりしていますか。(はいいくつでも)

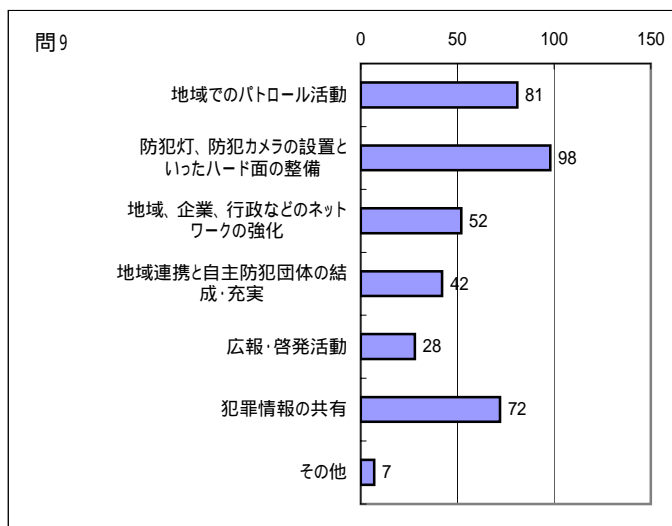
区 分	人数	割合
夜間パトロール	15人	9.7%
日中のパトロールや子どもの見守り	25人	16.2%
防犯講習会、防犯教室への参加	13人	8.4%
防犯マップづくり	3人	1.9%
玄関灯等の点灯運動	43人	27.9%
地域での防犯器具・機器の設置	3人	1.9%
通学路、公園等の安全点検	18人	11.7%
広報・啓発活動	5人	3.2%
落書き消し、ゴミ拾いなどの環境浄化活動	12人	7.8%
その他	4人	2.6%
参加していない	75人	48.7%
計	216人	140.3%



その他
 ・まちづくり協議会への参加
 ・知らない人への声かけ
 ・大津まちなかスッキリ土隊活動 等

問9 今後望まれる防犯対策の取り組みは、どのようなものですか。(はいくつでも)

区 分	人数	割合
地域でのパトロール活動	81	52.6%
防犯灯、防犯カメラの設置と いったハード面の整備	98	63.6%
地域、企業、行政などのネット ワークの強化	52	33.8%
地域連携と自主防犯団体の結 成・充実	42	27.3%
広報・啓発活動	28	18.2%
犯罪情報の共有	72	46.8%
その他	7	4.5%
計	380人	246.8%



その他
 ・花いっぱい運動の推進
 ・警察のパトロール強化
 ・声かけ運動の取り組み
 ・個人中心的な風潮をなくす 等

安全なまちづくり施策に関してのご意見等(主なもの)

防犯灯や防犯カメラ等の設置や道路整備等

- ・ 街に防犯カメラの設置がない。犯罪防止のためと、犯人逮捕には必要と思う。
- ・ ハード面(街灯)の整備を強化して欲しい。
- ・ 田舎道だと、街灯が少なすぎて物騒に思う。
- ・ 防犯カメラをダミーでもいいので、全体をカバーできるだけ設置して欲しい。

地域における取組等

- ・ 「あいさつ運動」をはじめとする地域内の連携が必要である。
- ・ 「落書き消し」などの環境浄化といった街全体を良くしていく地道な活動が必要。
- ・ 町内で多くの人に参加できる行事や運動等を実施することが大切と思う。
- ・ 防犯活動をしているのは年配の方ばかりですが、これでいいのでしょうか。

警察や行政に対する要望

- ・ パトロールを強化し、小さな犯罪から徹底的に排除して欲しい。
- ・ 警察の24時間パトロールを望む。
- ・ 交番は不在が多いようなので、いざという時に心配である。
- ・ 自治体もパトロールを徹底してもらいたい。
- ・ 警察官の増員と交番を増設することで犯罪抑止につながると思う。
- ・ 行政・団体・企業がネットワーク的に予防システムを構築していくことが重要である。
- ・ 行政、企業がもっと協力的になって防犯対策に取り組む必要がある。

情報提供や防犯指導・研修等

- ・ 犯罪情報の共有化をより推進して欲しい。
- ・ 身近な犯罪を紹介し、対処方法を示すことが大切。
- ・ 地域の企業や行政が連携していち早くインターネット等を使って犯罪情報を流して欲しい。
- ・ 犯罪者の情報を流して欲しい。特に性犯罪や凶悪犯罪の出所など。
- ・ 防犯活動に参加したいが、情報がないのでどこでやっているのかわからない。

その他

- ・ プライバシー保護という法律が全ての障害になっていると思う。
- ・ 駅前やコンビニでたむろしている不良を徹底的に排除して欲しい。
- ・ 教育を時代に合ったものにしていく柔軟な仕組みが必要と思う。
- ・ 経済的・精神的に相談できる専門的な場所が必要に思う。
- ・ 昔のような地域の連帯感には戻らないが、「一人で生きているわけではない」ことを皆が考えなければいけない。
- ・ 10年、20年先を見据えた教育や、経験を積んでいくような長いスケールでの取り組みが必要では。